



解体工事が始まった立石駅北口

葛飾区の京成立石駅北口で9月から再開発事業に向けた解体工事が始まった。狭い道路や老朽化した木造家屋の密集による防災上の課題解決と、都市機能の更新などを図る再開発で、「呑んべ横丁」を筆頭に、1000円で酔える「せんべろ」の飲み屋や、古びた店が軒を連ねていた一帯はなくなる。

跡地は2028年度ごろには、区役所や商業施設が入るビルとタワーマンションが建ち、交通広場が整備される。この街並みが失われるのを惜しんで、9月2日、思い出しの思い出をしようと、商店会が最初で最後のイベント「北口に捨てるフォーエバー2023 クリーン作

解体前に思い出づくり

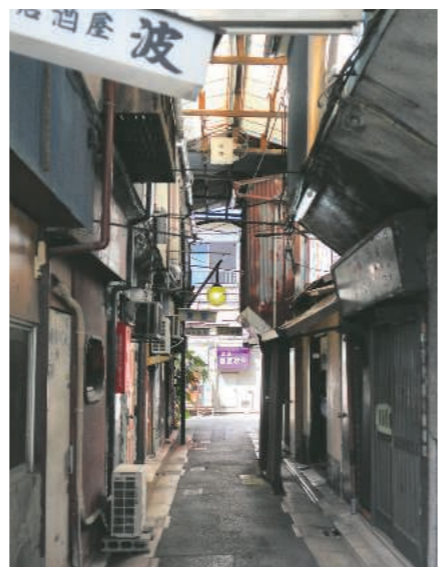
感謝のゴミ拾いにファン集う



ゴミ拾い参加者が続出

立石が好きなら誰でも参加可能と呼び掛けたこともあり、「立石♥(ラブ)」勢が多数訪れた。ゴミ拾いのエリアは個店の閉店や移転で手入れがされなくなったためか、道端

や建物の陰にタバコの吸い殻やペットボトルなどがポイ捨てされており、回収用ゴミ袋にどんどんたまっていく。母親と来たいた男の子も「意外とある」と驚いていた。



街の象徴だった「呑んべ横丁」

重ねスタンプウォークは、3カ所のポイントを巡り台紙に1色ずつスタンプを押していくと、最終的に多色刷りのような1枚の絵になる仕組み。デジタル全盛の現代に「立石らしさ」を醸し出すため、あえてアナログな手法を選んだ。イベントを企画・主導したのは、商店会の南側で靴店を営む細谷政男副会長。当日を振り返って「皆さんが笑顔いっぱい、立石のいい思い出になったと思う。駅北口は変わるが、さらに愛される街になるよう期待してほしい」と語った。なお、集まったゴミは45袋のゴミ袋10個にもなった。

10月食品ロス削減月間

10月30日 食品ロス削減の日



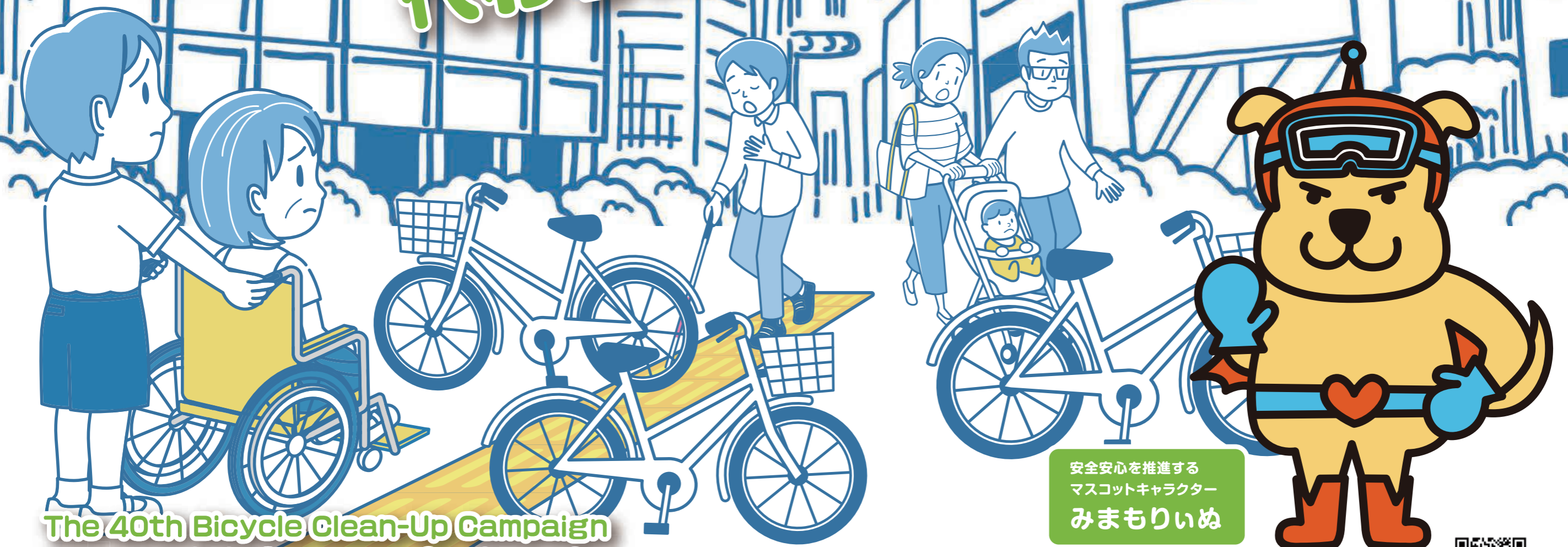
事業者と家庭からの「もったいない」食品ロスを減らすため、関係者が連携し国民運動「FWD-FOODLOSS PROJECT」を展開中。この運動のロゴマーク(2960)です。なお、このマークは、食品ロス削減を推進する取組の推進標記として使うことができます。



出典：消費者庁

自転車の代わりに置こう 思いやり

Leave behind your thoughtfulness, not your bicycle.



安全安心を推進するマスコットキャラクター みまもりいぬ

The 40th Bicycle Clean-Up Campaign

第40回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

2023年10月22日(日)~10月31日(火)

駅前放置自転車クリーンキャンペーン

